

# 令和5年度 学校評価 生徒アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R5	R4	R3
1 教育活動全般について	1	学校は教育方針や育てたい生徒像をはっきり示してくれる。	3.2	3.3	3.4
	2	学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている。	3.4	3.6	3.6
	3	学校は進路に関して情報を提供してくれている。	3.5	3.6	3.6
	4	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.4	3.4
	5	担任の先生は、保護者との連絡を密にしている。	3.1	3.3	3.0
	6	生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い。	3.2	3.4	3.4
2 学習活動について	7	1日の平均家庭学習時間。 (2時間以上・4, 2時間~1時間・3, 1時間~30分・2, 30分~0分・1)	1.9	1.9	2.1
	8	先生は、テスト以外の面も評価してくれている。	3.4	3.5	3.5
	9	授業は集中できている。	3.1	3.1	3.2
	10	授業でわからないことについては、先生に質問しやすい。	2.9	3.2	2.8
	11	始業時には、きちんと席に着き、教科書等の準備をしている。	3.5	3.2	3.6
	12	課題・提出物は期限までに提出している。	3.2	2.9	3.2
3 教育環境について	13	学校は校舎内外の環境整備に努めている。	3.2	3.2	3.3
	14	学校の施設・設備は安全面で問題はない。	3.3	3.3	3.3
	15	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.1	3.2	3.2
	16	ゴミを散らかさないようにしている。	3.5	3.4	3.4
4 生徒活動について	17	生徒会活動に関心を持ち積極的に参加している。	2.9	3.2	2.8
	18	社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.5	3.2	3.5
	19	自分からすすんであいさつをしている。	3.5	3.4	3.4
	20	部活動に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.6	3.4
5 その他	21	壱岐商生として、誇りをもっている。		3.3	3.3
	22	壱岐商業高校に入学して良かったと思う。	3.3		
	23	家庭ではあいさつや礼儀、生活態度などについて注意してくれる。	3.4	3.4	3.3
	24	朝の10分間読書に熱心に取り組んでいる。	3.5	3.5	3.5
	25	学校行事は楽しみである。	3.5	3.6	3.4
	26	周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.5	3.4	3.5

# 令和5年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R5	R4	R3
1 教育活動全般について	1	本年度の学校教育目標は分かりやすい目標になっている。	3.3	3.1	3.3
	2	学校の生徒指導に対する姿勢に共感できる。	3.1	3.0	3.2
	3	学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	2.9	3.0	3.1
	4	学校は子どもが部活動に意欲を持って参加できる環境が整っている。	3.2	3.0	3.2
2 学習活動について	5	子どもは学校行事を楽しみにしている。	3.4	3.3	3.3
	6	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	3.3	3.3	3.3
	7	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	2.9	2.8	3.0
	8	子どもは家庭学習を行っている。	2.6	2.7	2.8
	9	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	3.2	3.2	3.2
	10	学習の内容や進度等を、懇談や学校からの通信によって知ることができる。	3.0	2.9	3.1
3 教育環境について	11	学校は事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	3.2	3.1	3.2
	12	学校は清掃が行き届き、いつもきれいだである。	3.3	3.3	3.3
4 開かれた学校づくりについて	13	学校は保護者や地域の人たちと話す機会を多く設けている。	2.9	2.8	2.9
	14	学校は子どもの様子を保護者や地域に情報提供してくれる。	3.0	2.9	3.0
	15	学校は地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.2	3.1	3.1
	16	先生はPTA主催の行事に進んで参加している。		3.3	3.3
5 その他	17	子どもは社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.3	3.3	3.3
	18	子どもは積極的に部活動に参加している。	3.5	3.4	3.4
	19	家庭ではしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。	3.2	3.2	3.2
	20	担任に子どもの教育について気軽に相談できる。	3.1	3.1	3.2
	21	子どもは周囲や相手のことを思いやって生活できている	3.3	3.3	3.3

## 令和5年度 学校評価表（自己評価）

<b>校 訓</b>	(1) 知性 【高い理想を掲げるとともに、学んだ知識・技能を活用して、自ら課題を発見・探求し、成果等を表現できる能力を育もう】 (2) 信義 【礼儀を正し、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決しようとする態度を身につけよう】 (3) 勇気 【体位を向上させ、様々な変化に積極的に向き合い、新しいことに挑戦する勇気を養おう】	<b>総合評価</b>			
<b>教育方針</b>	ふるさとを愛し地域社会で活躍する人材を育成するためには、常に学び続ける姿勢と新しいことに挑戦する姿勢を醸成する必要がある。また、他者の考えを尊重し自他共に幸せを求める人材となるように、学校生活のあらゆる場面で生徒自身が考え行動できる環境を構築し、地域に求められる生徒の育成を目指す。	<b>3.2</b>			
<b>教育ローガン</b>	本気で学んで 本気で鍛えて 夢実現！ ～目指せ！日本一の島の専門学校～	<b>本年度の合言葉</b>			
<b>教育目標 (育てたい生徒像)</b>	1 高い自己肯定感を持ち、他者を思いやることができる生徒を育てる。 2 将来、会社を経営したい生徒や会社内で経営について建設的な意見を述べるができる 育てる。	「Well-Being ～それぞれが主役～」			
<b>本年度の重点目標</b>		<b>生徒の行動目標</b>			
1 学習指導 (1) 教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進 ・指導の個別化 (個に応じた教材の提供および柔軟な学習時間の設定) ・学習の個性化 (個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の提供) (2) ティーチング重視からコーチング重視への教育転換 (3) 客観的で適切な観点別評価の実施  2 生徒指導 (1) 改訂生徒指導提要进行を踏まえた生徒指導の実践 (2) SDGsを意識した教育活動	3 学校運営 (1) 分掌事項の協働・協力 (ひとりに任せずみんなで取り組む) (2) 内規の見直し (教務・校則・部活動) (3) 減災・防災教育の推進 (安全・安心な教育環境の充実)	(1) 自分を大切に、他人を思いやろう。 (2) 明るく、元気な挨拶をかわして元気な学校にしよう。(目を見て笑顔でワンストップ挨拶をしよう) (3) 場に即したマナーを身につけよう。 (4) 目標を立て、あきらめずに粘り強く努力しよう。 (5) 毎時間の授業に真剣に臨み、家庭学習の習慣化に努めよう。 (6) 意欲的に資格取得を目指し、将来に投資しよう。 (7) 積極的に読書をし、創造力や表現力を身につけよう。 (8) 部活動に励み、心身を鍛え、やり抜く力を身につけよう。 (9) 進んで学校行事や奉仕活動に取り組もう。 (10) 校内美化に努め、美しい環境をつくろう。			
評価は右記の4～1の番号を記入してください。                      4：十分達成できている                      3：おおむね達成できている                      2：どちらかという達成できていない                      1：ほとんど達成できていない					
<b>分掌学年等</b>	<b>努力目標</b>	<b>具体的方策 (到達目標)</b>	<b>評 価</b>	<b>成果と課題</b>	
			昨年度 本年度 総合		
教 務 部	(1) 授業時数の確保と円滑な行事運営を行う。 (2) 授業研究及び情報交換の機会を設け、指導力向上のための研修を促進する。 (3) ICT教育や変化する教育活動に対応し、職員生徒の疑問に応え実践を支える。 (4) 保護者、同窓会、地域等との連携を図り、PTA活動の活性化や情報発信などにより開かれた学校づくりを推進する。 (5) 誰もが読書を楽しめる図書館運営を心がける。 (6) 図書委員会の活動を活性化し、仕事への責任感を持たせる。 (7) 朝の読書が、生徒にとって有意義で快適な時間となるよう支援する。	職員会議資料は、会議の2日前までに整理し、まとめて起案および冊子化することを目指す。また、会議前日までに職員配布することを目指す。  P T A 行事 (総会、地区 P T A、研修会) の出席率が過半数を超えるように促す。  教務部内で業務連絡・分担確認を定期的に行い、連携して行事の円滑な運営を図る。  各行事の実施後 10 日以内には反省を行い検証し、次年度につなげる。  教育相談部との連携を図り、ユニバーサルデザインの充実を図る。  課題・提出物は期限までに提出している。 (今年度目標 90%)  一日あたりの来館者 10 人以上をめざす。  図書委員にカウンター作業を徹底させる。  貸出本の未返却者を 0 にする。  「図書館だより」を年 3 回発行する。	2.8 3.8  2.8 3.0  2.5 3.5  3.0 3.0  2.8 2.8  2.5 2.5  2.2 1.9  2.8 2.8  2.2 2.0  2.8 3.8	2.9	・ 図書の仕事比率が増えたこともあり、仕事を覚えられて良かった。 ・ 定期的に教務部会を開くことで仕事の流れをイメージしやすくなった。 ・ 次年度は自分の仕事以外もサポートできるように仕事の進め方を考えたい。 ・ 図書館来館者を増やすために、クラスごとに図書館デーをつくる。 ・ 職員会議資料については Teams での利用が定着した。 ・ 地区 PTA の出席率が向上しない。内容の検討が必要なのか。 ・ 生徒の提出締め切りが守られていないことをよく感じる。 ・ ユニバーサルデザインについては教育相談部がこれ以上の方策を持っていないのであればもっと、教務部から提案してもよいかもかもしれません。以下は現時点で思いついた方策です。 → 教室前方に置いているゴミ箱は授業中生徒の目に触れてしまうので廊下に出す。 → プリントに用いるフォントはすべてユニバーサル系のフォントに統一する。 エクセル等の入力に使うフォントについてはプログラミングでよく使われる 1 と 1 の違いや 0 と 0 の違いが分かりやすい (名前は忘れましたが) フォントに統一する。 → 授業プリントで生徒の誤解が想定される表現などについてはアンダーラインや太字にする。 → 座席の移動で集中力を欠く生徒が少なからずいることが想定されるので、椅子だけではなく机にもテニスボールをつける。 ・ 課題・提出物について、学校全体として徹底が足りないと感じる。課題をしてこなかった生徒は部活動よりも優先して放課後に取り組みさせる (顧問への連絡は生徒から)。また、冬休み近くになっても夏休みの課題をつづいている様子を見たこともあります。流石に長期間提出物を回収できないのは教員の責任も大きいと思っているのですが、そのような場合はリセットしてやらないと生徒自身のモチベーションも上がることはないし、次に向かおうという姿勢も現れないと思う。 教務部の役割分担とかは適切に配置されていて特に問題はなかったかと思えます。あえて言えば年度初めのドタバタのときに校務事務支援システムとかで手伝っていたらよかったなと反省しているくらいです。
生徒指導部	(1) 全職員が共通理解の下に、あらゆる機会でも容儀・マナーの指導を行う。 (2) 校内・校外巡視、登下校指導を行い、職員同士や保護者との連携を密に行い、問題行動発生の予防に努める。 (3) 保護者・地域関係諸機関と連携し、生徒の健全な成長を目指す。  <今年度の重点的取組> (1) 容儀指導の徹底 (基準の確認、共通理解) (2) 問題行動の未然防止 (校内外の巡視、登下校指導の充実) (3) 保護者・地域関係諸機関との連携 (P T A、学警連、学校・警察相互連絡制度) (4) 「どこでも誰にでも、さわやかな挨拶」の徹底	容儀指導を月 1 回実施し、事後指導を徹底する。  学年・分掌との連携を深め、問題行動の予防に努める。  交通ルールやマナー指導、自転車点検などを行い、交通事故「ゼロ」を目指す。  「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で 90% 以上を目指す。 「生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い」の項目で 85% 以上を目指す。 「社会のルール、学校のルールをよく守っている」の項目で 95% 以上を目指す。 「自分ですすんで挨拶をしている」の項目で 95% 以上を目指す。 「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で生徒アンケート 90% 以上を目指す。	3.3 3.7  3.0 4.0  3.3 3.3  3.0 3.3  3.3 3.7  2.5 3.4  3.0 3.7  3.0 3.2	3.5	【課題】 (1) 謹慎期間中の過ごし方について再考の必要があった。 ● 保護者が不在の場合などは、登校させて指導する。 ● 教科担当者が課題を準備する。など、改善していきたい。 (2) 校則の見直しについて ● 校則の見直しは、必要であるが、下記の事項を考えた上で今後検討する予定である。 ・ 社会的なマナーの部分 ・ 学校のイメージづくり ・ 不必要な部分 ● 男女間の規定を統一できる部分は統一していく。(前髪) 【成果】 (1) 問題行動はあったものの、学校生活の中で子どもたちの精神的な成長が見られている。 (2) 保護者や関係機関との連携しながら、生徒指導を実施できている。

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
進路指導部	(1)3年間を見通した進路指導の方策を練るとともに職業観・勤労観を育てる。また、キャリアパスポートの運用について円滑に進める。 (2)進路ガイダンスなど進路関係の諸行事への保護者の参加を増やすとともにHPによる情報発信を行う。 (3)企業訪問により追跡調査・定着指導を行うとともに、求人確保につなげる。 (4)基礎学力向上に対する取組を策定する。 (5)進路閲覧室の環境整備を進め、生徒の利用を増やす。	3年生の進路決定率100%。	3.5	3.5	3.3	・1/16現在、3年生の進路未定者が2名。1名は専門学校不合格後の進路変更。1名は就職適性が低い状況にあり、卒業までにその向上を目指す。万一在籍中に就職が叶わなかった場合は、ハローワークや社協等に確実につなげることをとする。その他進路が決定した生徒も、自己理解や進路先検討が不十分であった面も否めず、進路意識の醸成をいかに前倒しできるかが課題である。 ・機会や情報を自分事にするプロセスにおいて支援が必要である。学級内で情報を共有し進路探究をする時間を、各学年で設定してもらえようようにしたい。 ・適切な指導を行っているかを評価することは正直なところ難しいだろうと考える。親子の会話に進路に関する話題が上がるように、生徒の進路意識を高めることが肝要だろう。
		学校評価「学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている」「学校は進路に関して情報を提供してくれている」の両項目で、3.5以上を目指す。	4.0	3.5		
		学校評価「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の項目で、3.5以上を目指す。	3.0	3.0		
教育相談部	(1)悩みや不安を抱える生徒の把握に努め、適切な時期に相談を実施する。 (2)担任、養護教諭や生徒指導部との連携を密にし、効果的なカウンセリングに努める。 (3)「学校いじめ防止基本方針」を元に、いじめ問題根絶のため、多面的な情報収集と面談を実施し、予防、早期発見、早期解決に努める。 (4)人権・同和教育の充実に努める。 (5)各種奨学金を必要とする生徒に対し、円滑な手続きを行い、学校生活の支援をする。 (6)全職員の共通理解のもと、学年・分掌の枠を超えて生徒への対応を行う体制作りに努める。	関係職員と連携し、要観察生徒の情報交換を密にし、全教職員で共通理解をする。記録を引継ぎシートに残す。	3.2	3.6	3.4	・昨年度と比較し、『いじめや暴力のない学校づくり』と『生徒の悩みや相談についての先生の対応』への評価が低下した。生活実態調査やいじめ調査に記述されていないいじめがあるのかもしれない。日頃から生徒の様子を見守る中で、ちょっとした気づきを情報共有し、役割を分担し生徒へ丁寧に対応していく体制をさらに強化する必要がある。 ・入学後不登校になった生徒に対し、生徒指導提要(改訂)を踏まえた、チーム(生徒指導・教育相談・学年・担任・部活動)で支援を進めることができた。一部の教員の負担とならないような手立てをケースに応じて考え、取り組むことが必要である。 ・SSW(年間105時間)、SC(派遣7回:1月現在)、外部関係機関と連携し、生徒や保護者の支援に役立てることができた。 ・教育相談委員会年間3回、特別支援教育推進委員会年間3回(共に1月現在)を実施し、生徒支援の方策を検討することができた。
		年1回4月に心理検査等を実施し、生徒一人ひとりが抱えている内面的問題を把握し、学級担任のより一層の生徒理解を図る。	3.4	3.2		
		養護教諭と連携して、日々の学校全体の欠席状況や保健室利用状況を把握し、毎週1回分掌会で「気になる生徒」の情報交換を行い学年・分掌間の連携と協力体制を作る。	3.4	3.6		
		教育相談委員会を学期に1回、年最低3回実施し、生徒状況の把握や保護者への対応の在り方、学年間での共通理解を図る。	3.6	4.0		
		事例研究や精神科医や教育相談員の講話等の職員研修を年1回は実施する。	3.6	3.8		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。【今年度:86.0% 昨年度:92.0%】	3.2	2.8		
		学校評価「生徒の悩みや相談について親身となって応じてくれる先生が多い」の項目で90%以上を目指す。【今年度:84.5% 昨年度93.0%】	3.2	2.8		
保健環境部	(1)健康診断・健康相談について ①検診時のマナー指導 ②生徒・保護者への通知と受診依頼 ③担任・部活動顧問からの健康管理指導 (2)保健活動 ①食生活の見直し、ならびにう歯の予防や健康的な生活の指導 ②性教育の実施 ③歯科・眼科の受診率の向上 (3)保健室利用について ①保健室利用カードの活用 ②担任・学年団・教科担任との情報共有 (4)心のケアについて ①生徒一人ひとりの心の変化に気を配り、相談しやすい雰囲気を作る。 ②教育相談部と連携し、生徒のカウンセリングの方策について、全職員での共通理解を図る。一人で抱え込まず、チームで指導にあたる。 (5)美化意識の向上と清掃励行について ①1・2学期に美化週間を設け、学校全体で美化意識の向上を図る。 ②SDG'sに関連する地域清掃を通して、島内の環境美化に努めるとともに、ゴミの分別や資源再利用の意識を高める。	美化週間を設定し、日頃できていないところまで丁寧に無言で清掃する。	3.3	4.0	3.4	・美化週間に美化点検を行っているが、今年度は抜き打ちの美化点検を2回行った。先生方のご協力のもと、生徒たちの美化意識が高まっていると感じている。引き続き環境整備委員の生徒と共に、活動を強化していきたい。 ・大掃除の際、体操服に更衣をしていない生徒が毎回いるため徹底していく。 ・感染症に関しては、新型コロナウイルス感染症の他に、インフルエンザの罹患者も出ている。閉鎖の措置はとっていないが、生徒一人ひとりの感染予防に対する意識を高めて行く必要がある。換気などの重要性を指導する必要がある。 ・歯科受診率、眼科受診率を上げるため、個別指導など行っており受診率は上がってきているものの、むし歯保有数の多い生徒、むし歯が進行している生徒、視力が著しく低下している生徒の受診にはつながっていないため継続した取り組みが必要。 ・保健室利用の多い生徒については、担任、学年、教育相談部と連携を図りながら対応していきたい。
		大掃除は体操服に更衣し、隅々まで丁寧に行う。また、重点課題を設定し、校内のいっそうに美化に努める。	3.0	3.6		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつも綺麗である」の項目において4・3の合計が95%以上を目指す。【今年度生徒:89%】	3.2	3.3		
		学校評価「ゴミを散らかさないようにしている」の項目において、95%以上を目指す。【今年度生徒:96.5%】	3.4	3.6		
		地域清掃(観光地クリーン作戦)を通して環境美化に努め、ゴミの分別や資源再生利用の意識を高める。				
		感染症罹患による出席停止措置となる生徒数が全体の1割以下になるように努める。【今年度:66名】	2.6	2.6		
		肥満生徒の年間の体重増加を3kg以下にする。	3.0	3.0		
		保健指導を計画的に行い、学校行事での事故を無くす。	3.6	3.6		
		歯科受診率(昨年度19.4%)眼科受診率(昨年度23.3%)を昨年度よりも上げる。【今年度:歯科35% 眼科56:%】	2.0	3.6		

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
生徒会指導部	<p>(1)生徒の主体性や自主性を高め、積極的に社会貢献しようとする行動力を育成する。 ○生徒総会で生徒の活動や要望について積極的に検討させる。 ○生徒会と各分掌との連携を深めるとともに専門委員会を各学期2回開催し、生徒集会で報告する。</p> <p>(2)学校行事への積極的な参加と協力を態度を養う。 ○体育祭、文化祭、クラスマッチ等の集団活動の中で連帯感を深め、協調性を養う。特に文化祭では、文化委員を中心にクラスでの準備を計画的に行わせる。</p> <p>(3)生徒会役員会の活性化を図る。 ○定期的に役員会を実施し、役員相互のコミュニケーションを深める。 ○生徒会活動の中でリーダーシップを発揮できるように定期的に研修を行う。</p> <p>(4)部活動の活性化を図ることで統制の取れた集団へと成長し、活力ある学校を目指す。 ○無所属生徒を減らすために積極的に部活動への加入を推進し、特に1年次においては部活動に全員加入するよう指導を行う。</p> <p>(5)ボランティア活動の意義を理解し、実践する能力を養う。</p> <p>(6)平和を愛する心を育てるとともに、人権についての意識を高める。 ○8月9日全校登校日での平和学習を企画、運営する。</p>	各行事において主体的に取り組ませ、連帯感や達成感を高めて目標達成への自信につなげる。	3.3	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員としての自覚に温度差があった。</li> <li>・初の文化祭2日間開催は多くの点で課題が残るものだった。来年度は1日開催に戻るが、職員生徒共に人数が減るので日程や内容の精査がこれまでに必要だと思われる。</li> <li>・来年度はもっと生徒会役員が率先して行事を実施できるように自覚を高める指導をしたい。</li> <li>・文化祭やクラスマッチでのeスポーツ導入など新しい取り組みができたことは良かった。</li> <li>・商高生としての誇りをどう身につけさせるか考えていき、生徒が学校行事や部活動を通して主体的・自発的に取り組める環境づくりを行いたい。</li> </ul>
		部活動加入を積極的に推進し、生徒同士が切磋琢磨することで体得できる集中力や忍耐力、責任感などを身に付けさせる。	3.3	3.3		
		まずは生徒会役員が率先して楽しむことができるようなアイデアを積極的に出し合い、「挑戦」の視点で企画立案を行う。	3.0	3.3		
		「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」の項目で80%以上を目指す。	2.5	3.0		
		「自分から進んで挨拶をしている」の項目で90%以上を目指す。	3.5	3.3		
		「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で90%以上を目指す。	2.6	3.3		
第1学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 「わかる授業」「できる授業」だけでなく「考えさせる授業」の工夫 → HowのみでなくWhyを意識させる ② 課題等の提出の徹底(教科担任で責任をもつ) ③ 進路指導と並行した学力向上対策・・・3年間で全科目GTZ「D3」0人を目指す ④ 資格取得対策・・・・・・・・・・1学年で3級全員取得</p> <p>(2)生活指導に関する目標 ① お互いの価値観の尊重 ② 清掃の徹底と教室・廊下の美化 ③ 校則遵守・礼法・挨拶・マナーの指導 ④ 身だしなみ指導の徹底 ⑤ 時間厳守の徹底 ⑥ 安易な欠席の予防 ⑦ 不登校傾向にある生徒への早期対応 ⑧ 「いじめ」の早期発見と早期解決</p> <p>(3)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を築く。</p>	年間出席率99.0%以上を目指す。(欠席は年間3日以内、遅刻をしない)	1.8	2.6	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく元気な挨拶ができる生徒が多く雰囲気は良いが、けじめのつかない場面が見られた。</li> <li>・特定の生徒数名は最後まで提出物を期限内に出すことができなかった。今後も粘り強く指導を繰り返すことで少しずつ改善させたい。</li> <li>・長欠になった生徒に対しては、各分掌と情報を共有し、保護者との連絡を密にして解決を試みた。</li> <li>・整理整頓が行き届かなかった。美化コンテストの成績は散々だった(ワースト3独占)。</li> <li>・スケジュール帳を効果的に使えなかったので、次年度は活用させたい。</li> </ul>
		提出期限を守ることを徹底させる。	2.3	2.5		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で3.5以上を目指す。	2.6	3.8		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で3.5以上を目指す。	2.4	2.5		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で3.3以上を目指す。	3.4	3.2		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で3.5以上を目指す。	2.8	3.7		
		学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で3.4以上を目指す。	2.6	3.2		
		挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底	2.6	2.6		
第2学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 授業を大切にしたい意欲的な学習態度の育成 ② 家庭学習の定着と課題の期限内提出の徹底 ③ 成績不振者への個別指導</p> <p>(2)適性・能力にあった進路意識の育成 ① 個人面談(二者・三者面談含む)による進路意識の高揚 ② オープンキャンパス参加や進路指導室利用の促進</p> <p>(3)生徒指導に関する目標 ① 礼儀・マナーの育成 ・挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底 ② 規律ある生活態度の育成を図る ・健康面の自己管理、時間厳守、「けじめ」ある行動などの指導徹底 ③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り ・「いじめ」の早期発見と早期解決 ・教室整備と掃除の徹底 ④ 生活面で問題を抱える生徒への早期対応</p> <p>(4)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。</p>	保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。	2.6	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容儀面での違反は少なかったが、始業時・終業時の挨拶について最高学年となる来年度の成長を期待したい。一方、普段のあいさつは自主的になってきている。</li> <li>・どの担任の先生方も保護者とよく連絡を取り合っていた。また、学年の人間関係についても担任団を中心によく把握しており、迅速に対応できていた。</li> <li>・プレゼンテーション作成や行事面を通してコミュニケーション能力の向上は見られているが、まだ改善の余地は残っている。</li> <li>・基本的に男子が少ないためか、入学時から全体的に元気がない。というところからのスタートであったが、対称的な現3年生の姿を見て、変化してきた面があった。</li> <li>・提出物を出さない(出せない)生徒の固定化をどのように改善していくか工夫が必要である。</li> <li>・美化週間を意識させての学年全体での指導・呼びかけは効果的だった。</li> <li>・2学年それぞれ顔つき・受け答えが大人になったように思います。外部講師の講話など多様な経験が繋がってきている。また、三者面談に向けてのプレゼンで、生徒自身がしっかり自分に向き合い、「させられる」ではなく、「自分で決める」という変化につながってきていると感じる。それが彼らの成長につながってくれることを期待している。</li> </ul>
		社会人としての礼法・マナー及びコミュニケーション能力を定着させる。	2.5	2.5		
		学校評価の全ての項目の平均で、4・3の合計評価が、80%以上を目指す。	2.5	3.1		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	3.2	3.7		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で4・3の合計評価が80%以上を目指す。	2.2	2.7		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	2.9	3.5		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	2.9	3.0		
		学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」(壱岐商業高校に入学して良かったと思う)の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	2.7	3.0		

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第3学年	<p>(1)学習指導に関する目標</p> <p>① 成績上位者の育成</p> <p>② 主体的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>③ 資格取得の奨励</p> <p>(2)進路指導に関する目標</p> <p>① 個人面談や面接指導、進路講話等による進路指導の充実</p> <p>② 個々の生徒の希望と適性に応じた進路指導</p> <p>(3)生徒指導に関する目標</p> <p>① 礼儀・マナーの育成</p> <p>・挨拶、言葉遣い、容儀（頭髪・服装など）の指導徹底</p> <p>② 規律ある生活態度の育成を図る</p> <p>・健康面の自己管理、時間厳守、「けじめ」ある行動などの指導徹底</p> <p>③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り</p> <p>・「いじめ」の早期発見と早期解決</p> <p>・教室整備と掃除の徹底</p> <p>④ 生活面で問題を抱える生徒への早期対応</p> <p>(4)その他</p> <p>① 保護者との信頼関係を深め、進路実現への連携を図る。</p> <p>② 体育祭、文化祭等の学校行事をとおして、クラス・学年団の団結力を深め、目標達成による充実感を体験させる。</p> <p>③ 成人年齢の引き下げによるトラブル防止と社会で一人の大人として生きていく力を身に付けさせる。</p>	年間出席率99.0%以上を目指す。また全員卒業を達成する。	3.0	3.1	3.6	<p>・就職試験手続き中の生徒が1名いるが、本年度は売り手市場ということもあり、おおむね希望する進路先に決定した。</p> <p>特に特性がある生徒は取り組みが遅かったり、よく考えずに進路先を選ぶ生徒もいる。2年次末までに、個別に保護者も含めた面談が必要だと考える。</p> <p>また、生徒に特性や特徴がありながら、問題とまらない生徒（問題行動が特に見られない生徒）は、入学時から進路選択に至るまでに直接的な問題が浮彫にならない為、個別の対応が遅れるケースがあった。</p> <p>・受験先を決めてから、進路を迷う生徒が多数見られた。迷うのは仕方がないが、判断するための知識が必要。</p> <p>・Handy進路指導室の導入が、タブレット端末を利用した家庭での進路先比較・検討に役立った。</p> <p>・進路実現に向けた取組もあり、問題行動は少なかった</p> <p>・問題行動に対して学年全体で対応することができた。</p> <p>また、保護者や生徒については、担任や生徒指導部の協力と連携もあり、信頼関係を築くことができたと思っている。</p> <p>・体育祭、文化祭等の学校行事でクラスの団結力は深まった。</p> <p>・入学時より、保護者対応や生徒が抱える問題、問題行動など指導や対応が大変な場面も多く見られたが、各先生方に生徒一人一人に丁寧な対応をして頂いた。卒業後も、保護者の負担や生徒自身の困り感を解消できない家庭もあると思われるが、少しでも心豊かな人生となることを願いたい。</p>
		問題行動「ゼロ」を目指す。	2.9	2.4		
		進路決定100%を目指す。	3.0	3.0		
		生徒学校評価の全ての項目の平均で4.3の合計評価が、80%以上を目指す。	4.0	4.0		
		生徒学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目平均で、4.3の合計評価が85%以上を目指す。	4.0	4.0		
		生徒学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	4.0	4.0		
		生徒学校評価「自分から進んで挨拶をする」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	4.0	4.0		
商業科	<p>(1)家庭学習を習慣化し、「予習－授業－復習」のサイクルを確立することで、就職試験で戦える学力および進路先で通用する学力を身に付けさせる。</p> <p>(2)言語活動の充実を目指した授業を推進し、コミュニケーション能力の向上を図り、主体的な人材の育成を目指す。</p> <p>(3)各学科の独自性と専門性を活かし、地域社会に貢献できる事業（活動）の検討と実践に向けての取組を行う。</p>	教育課程の見直し。（生徒の実態に即した課程の検討）	3.0	2.7	2.6	<p>【株式会社】</p> <p>・株式会社を設立することができた。</p> <p>・運営に向けて、3学年全体での活動を取り入れることができた。</p> <p>・運営に向けて校内全体でビジョンを共有し役割分担を明確に行う必要がある。</p> <p>・商業科全員が核となって取り組み必要がある。</p> <p>・外部連携は生徒に良い影響を与えるので今後も取り入れる。</p> <p>【カリキュラム】</p> <p>・大学進学希望者に対して、小論文の講座を開設し、生徒の実態に合わせた進路選択科目を充実させる必要がある。</p> <p>・進路保証に必要な資格が取得できるカリキュラムを考える。</p> <p>【資格取得・学習】</p> <p>・ビジネスマイスター、上位検定取得者数が少なかった。</p> <p>・教員側の指導法を改善する必要がある。</p> <p>・課題の提出期限を守らせる、家庭学習の習慣化を改善させることが難しい。</p> <p>・検定試験前にバタバタして勉強をしている様子が見られる。普段からの学習習慣が身につけていないと感じた。</p>
		簿記検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	2.8	3.0		
		情報処理検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.0	3.1		
		全商3種以上 6名（昨年度は13名）	3.5	2.2		
		ビジネスマイスター長崎 32名（昨年度40名）	3.3	2.6		
		学校評価「毎日必ず家庭学習を行っている。1時間以上」の項目で2.3を目指す。（昨年度評価平均2.1）	2.1	1.9		